

健全な草原の維持を図るため、山焼きを実施

「鏡ヶ成自然再生活動（春の草原山焼き作業）」が4月27日（木）、鏡ヶ成で行われました。かつて鏡ヶ成は軍馬の放牧などに利用されていましたが、現在ではその利用低下によって草原の維持が困難となり、草原に生息・生育する野生生物の絶滅が危惧されています。町や県、鳥取大学関係者などが参加し、健全な草原を維持するために、地域で伝統的に行われてきた「山焼き」を実施しました。今後は鳥取大学によって植生の調査研究などが行われます。



▲山焼きの様子

春の大山を一斉清掃

「大山地区春の一斉清掃」が4月16日（日）に行われました。この活動は大山周辺に位置する自治体や県、環境省、自然保護団体が協働し、大山の美しい自然をゴミから守ることを目的に、毎年4月と10月に行っています。当日はサントリー天然水奥大山ブナの工場、大山隠岐国立公園管理事務所、西部総合事務所、江府町役場の各職場関係者や、一般の方など総勢20名ほど参加。雨の降る寒いなか、奥大山スキー場から鍵掛峠展望台までの区間のゴミの収集などを行いました。



▲大山一斉清掃の様子

「不易流行」

「よき伝統を守りながら（不易）
進歩に目を閉ざさないこと（流行）」によって

「理想」を創造する

接客品質の向上を目指して

新年度から12名の新しい職員が江府町役場で働いています。全員が住民のみなさんのお役に立てるよう、喜んでいただけるように一生懸命努力しています。清新な雰囲気をつつまでも大切にしたいと願っています。

さて、役場庁舎も新しくなって2年以上経過しました。役所への届け出、相談はもちろんのこと、絵画や写真の展示、コンサートや講演会、税の申告相談、スマホ教室、定期健診、期日前投票等、様々なご利用をいただいております。

そうした状況において、来られたお客様に対して気持ちのいい接客をすることは、怠ってはならないことです。しかし、窓口に来られたお客さまに気づかなかつたり、

担当が不在なのでわからないという対応をして、せっかく来られたお客様に不快な思いをさせてしまったことがあります。（決して新人職員というわけではありません）そのことを反省して、今後窓口での接客サービスの向上を徹底することになりました。それは、窓口で最初に対応した職員が、責任を持ってそのお客様のご用件が果たせるようにサポートすることです。具体的には、担当職員と話ができるようにおつなぎする、また、担当職員が不在であれば、後ほどお客様に連絡させるなどの対応をとること等、民間では当たり前のこととです。至らない点がありましたら、具体的な事例をお伝えくださいます。接客品質を向上させるよう指導いたします。

これまでのコラムはこちら!



これまでのコラムはQRコードを読み取ることでご覧いただけます。